

# 微生物部門分科会 アンケート結果報告

国立病院機構 東京病院

太田和秀一 (微生物部門 RA)

国立病院機構 西新潟中央病院

渡辺 靖 (RA 委員長 微生物部門担当)

微生物部門分科会アンケート

一部

＜入力方法＞

1. 黄色のセルはブラダウニリストから選択となっています。
2. 施設名はブラダウニリストから選択して下さい。
3. 回答欄に（ ）が付いているものは、（ ）内に数字を入力して下さい。
4. 回答欄に口が付いているものは、該当の口をクリックし、レ点を入力して下さい。

施設名：

1.施設状況について

質 問	回 答			
1)病床数	( 560 ) 床			
2)感染症専門医またはICD (専門医かつICDの場合は併任にレ)	感染症専門医 <input type="checkbox"/> いる <input checked="" type="checkbox"/> いない	ICD <input checked="" type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	<input type="checkbox"/> 併任	

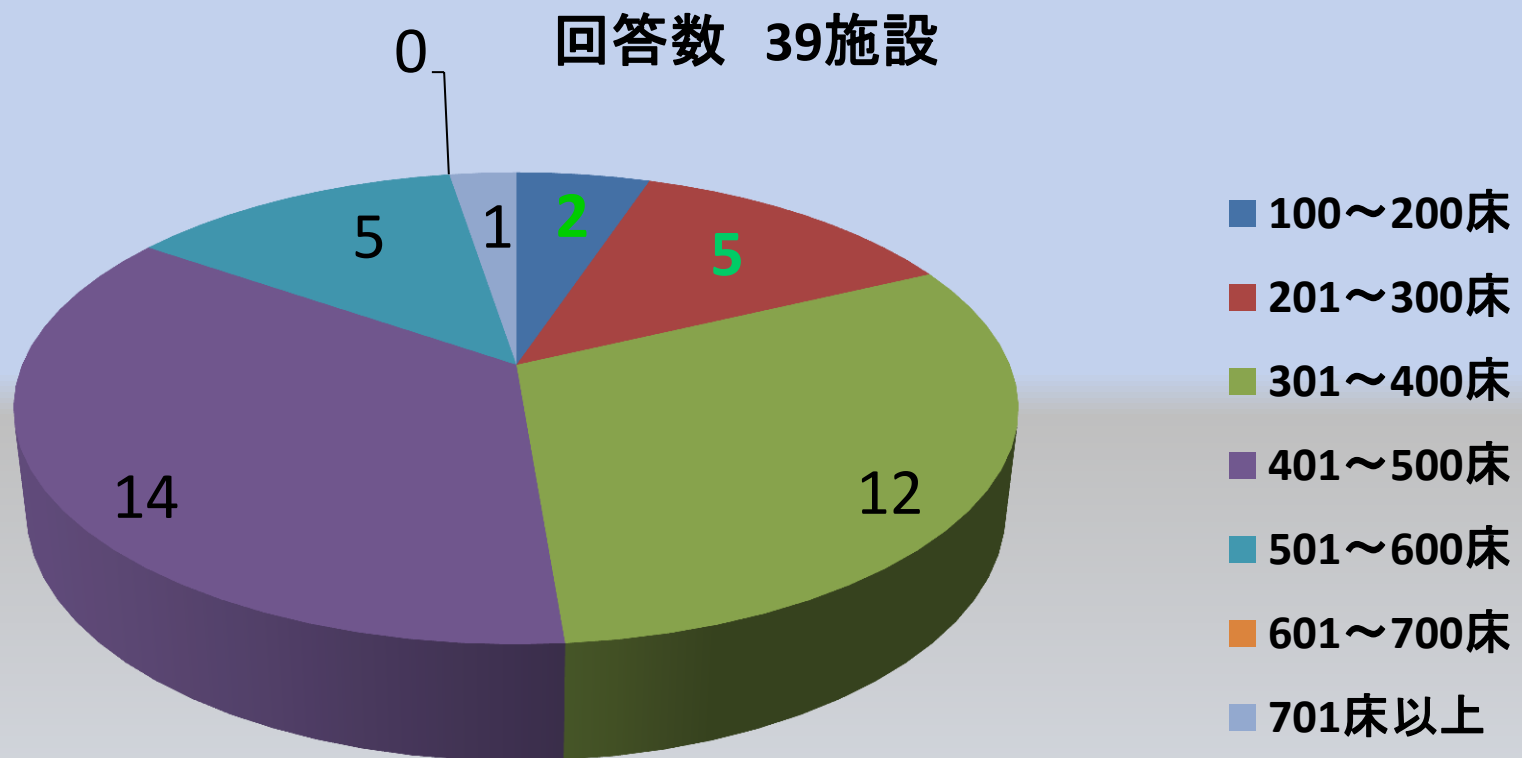
2.技師状況について

質 問	回 答			
3)細菌検査室人員数 (他部署との兼務で半日程度の場合は0.5人とカウント)	<input type="checkbox"/> 1～2名 <input checked="" type="checkbox"/> 2.5～4名 <input type="checkbox"/> 4.5名以上			
4)細菌検査経験年数	1年未満		1～5年	1 名
	11～20年	2 名	21年以上	名
5)認定資格保有状況 (複数所有の場合はそれぞれカウント)	認 定 臨 床 微 生 物 検 査 技 師	1 名		
	感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)	1 名		
	二 級 臨 床 検 査 士 ( 微 生 物 )	1 名		
	保 有 無 し	2 名		
6)認定臨床微生物検査技師取得意識	1 年 以 内 に 受 験 予 定	名		
	1 ～ 3 年 以 内 に 受 験 を 目 標	名		
	4 ～ 5 年 以 内 に 受 験 を 目 標	名		
	期 間 は 未 定 だ が 、 受 験 目 標 あ り	名		
	当 面 、 取 得 は 考 え て い な い	2 名		
7)微生物検査専門学会または感染症関連学会所属状況	所属している	3 名	所属していない	名

関信支部42施設中  
39施設より回答

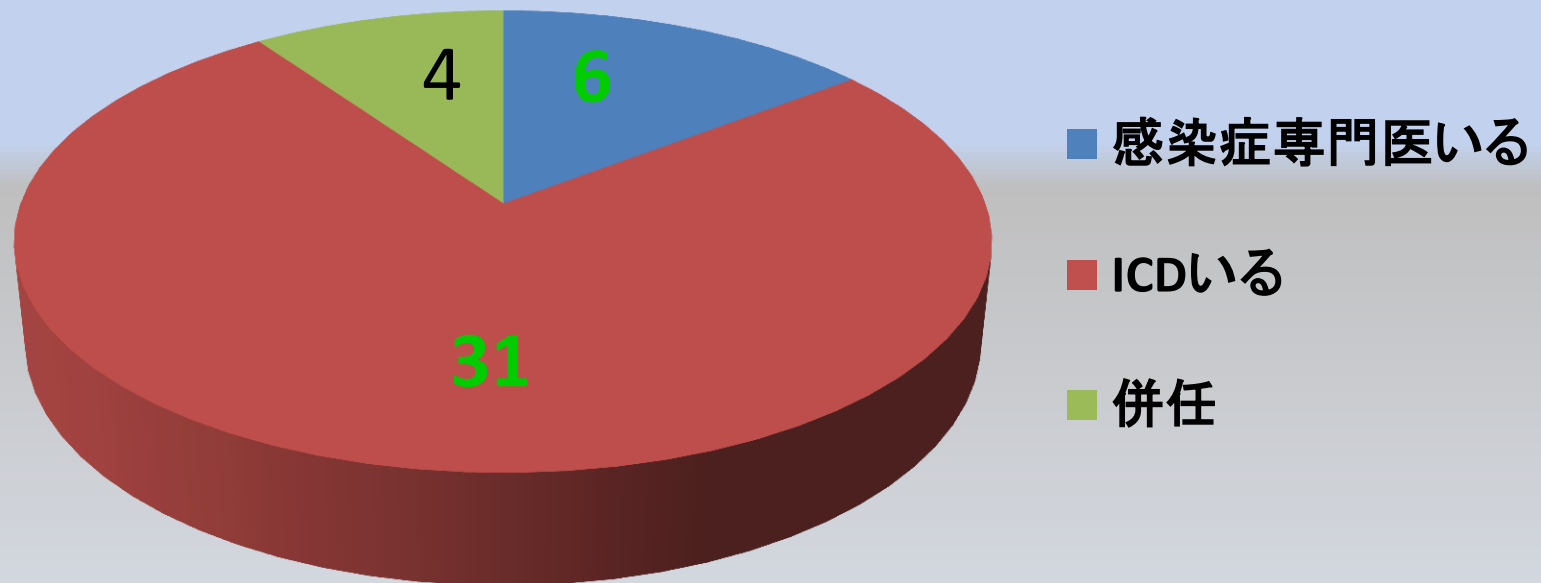
# 1.施設状況について

# 1) 病床数



## 2) 感染症専門医またはICD 専門医かつICDの場合は併任

回答数 39施設

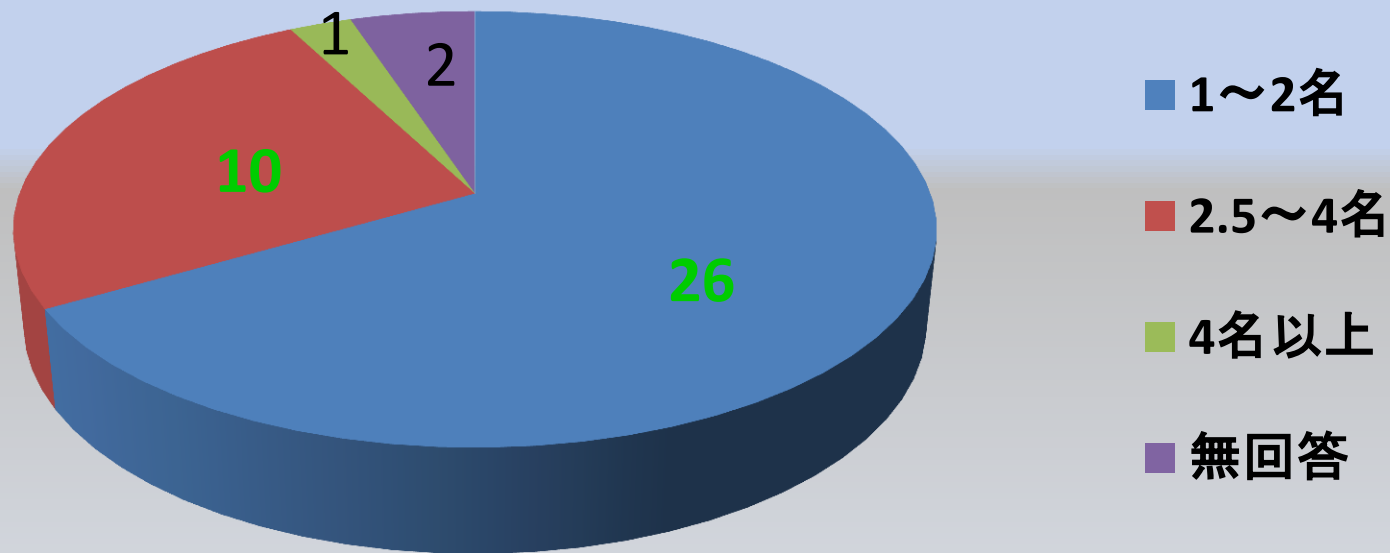


## 2.技師状況について

### 3)細菌検査室人員数

他部署との兼務で半日程度の場合0.5人とカウント

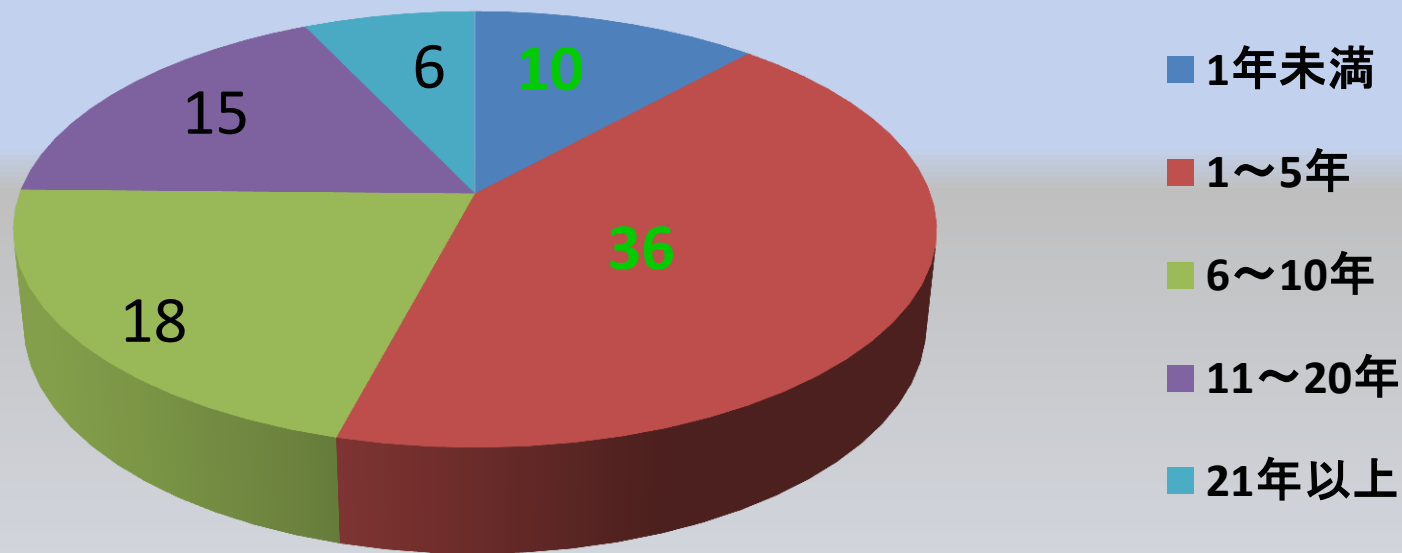
回答数 39施設





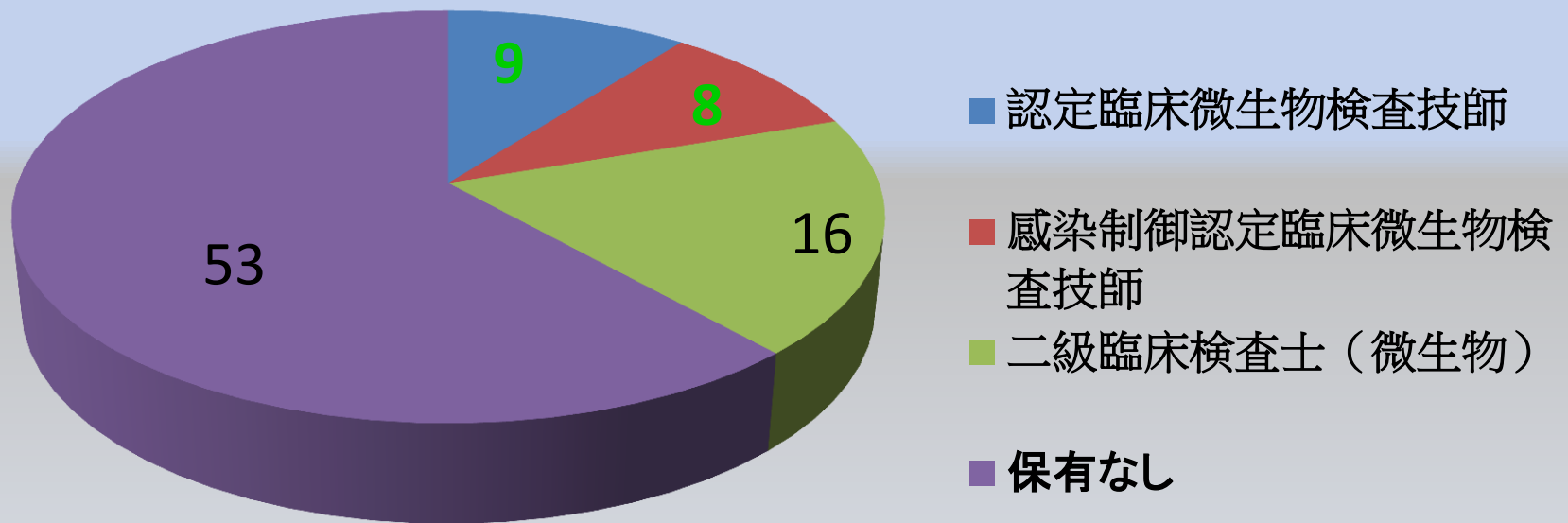
## 4) 細菌検査経験年数

回答数 39施設 85名



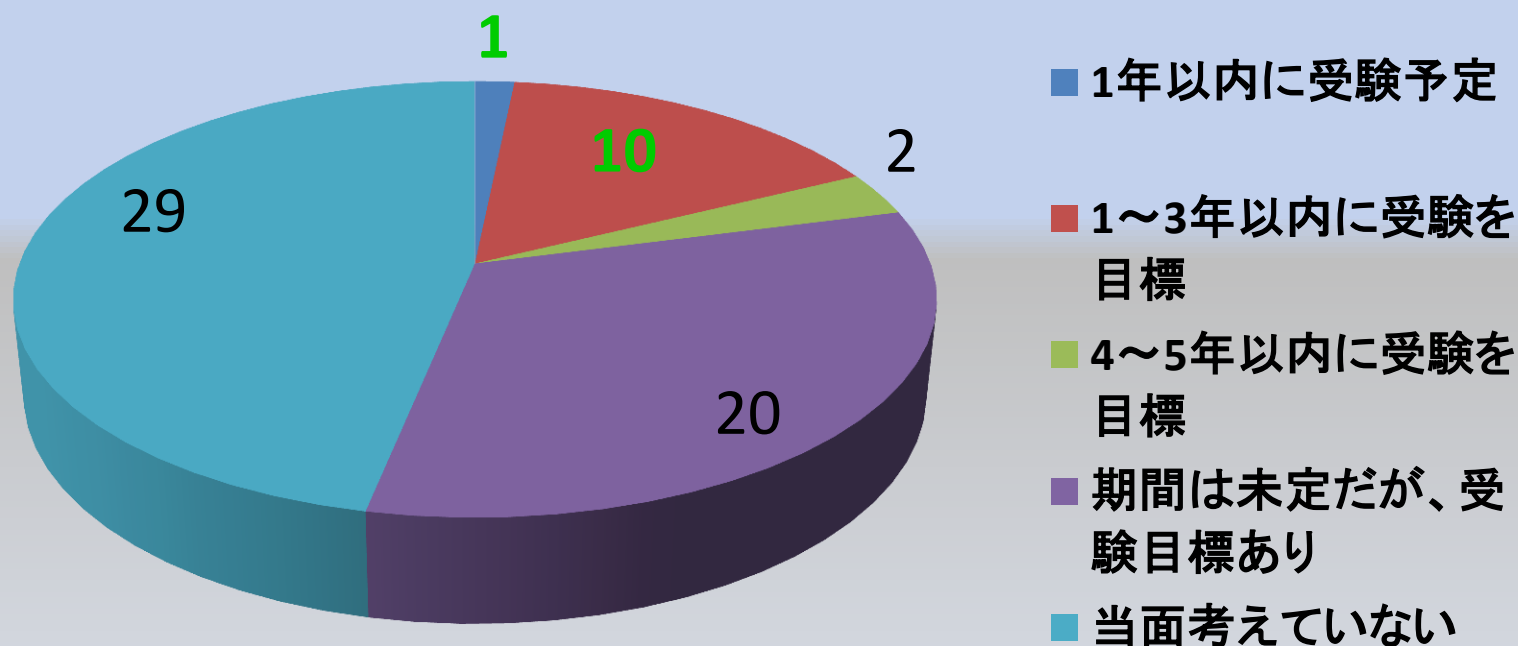
## 5) 認定資格保有状況 複数所有の場合それぞれカウント

回答数 39施設 86名



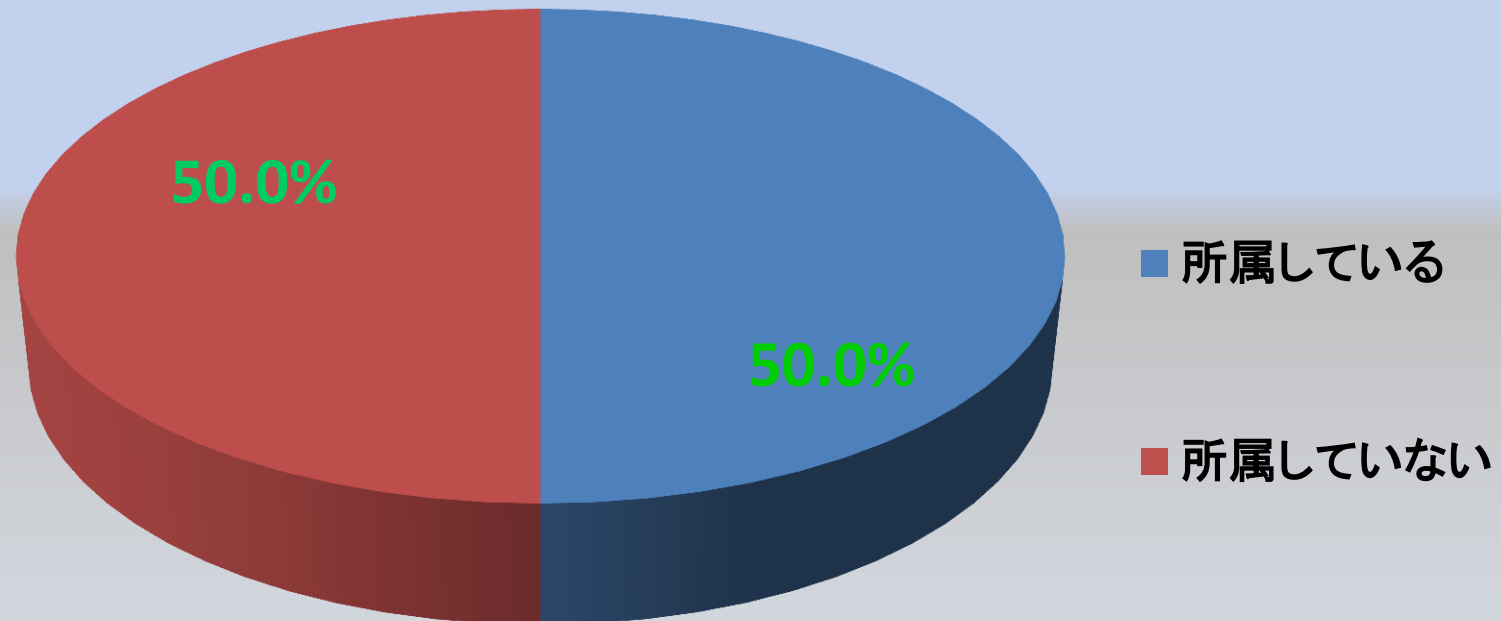
## 6) 認定臨床微生物検査技師取得意識

回答数 39施設 62名



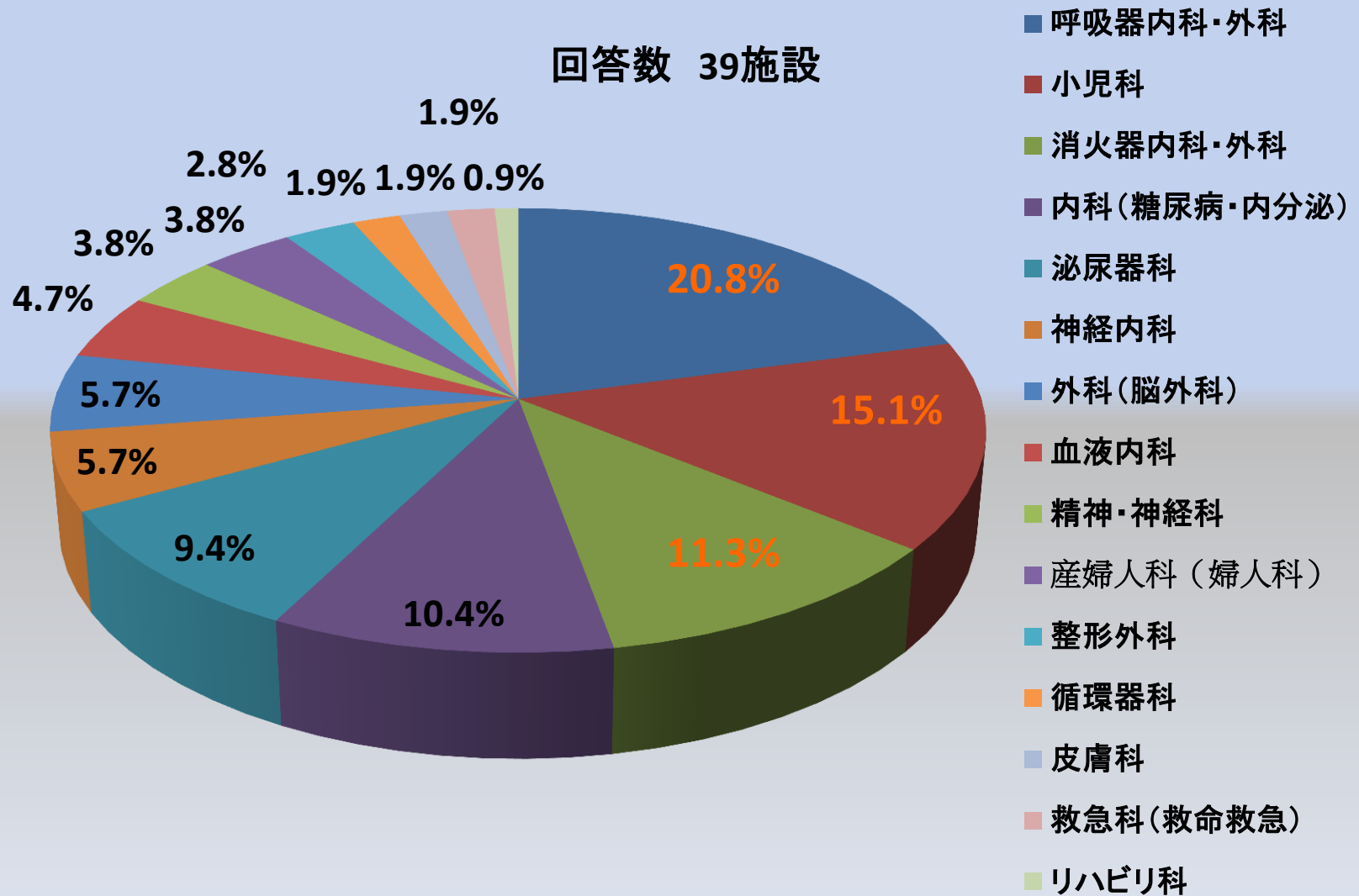
## 7.微生物検査専門学会または 感染症関連学会所属状況

回答数 39施設 82名



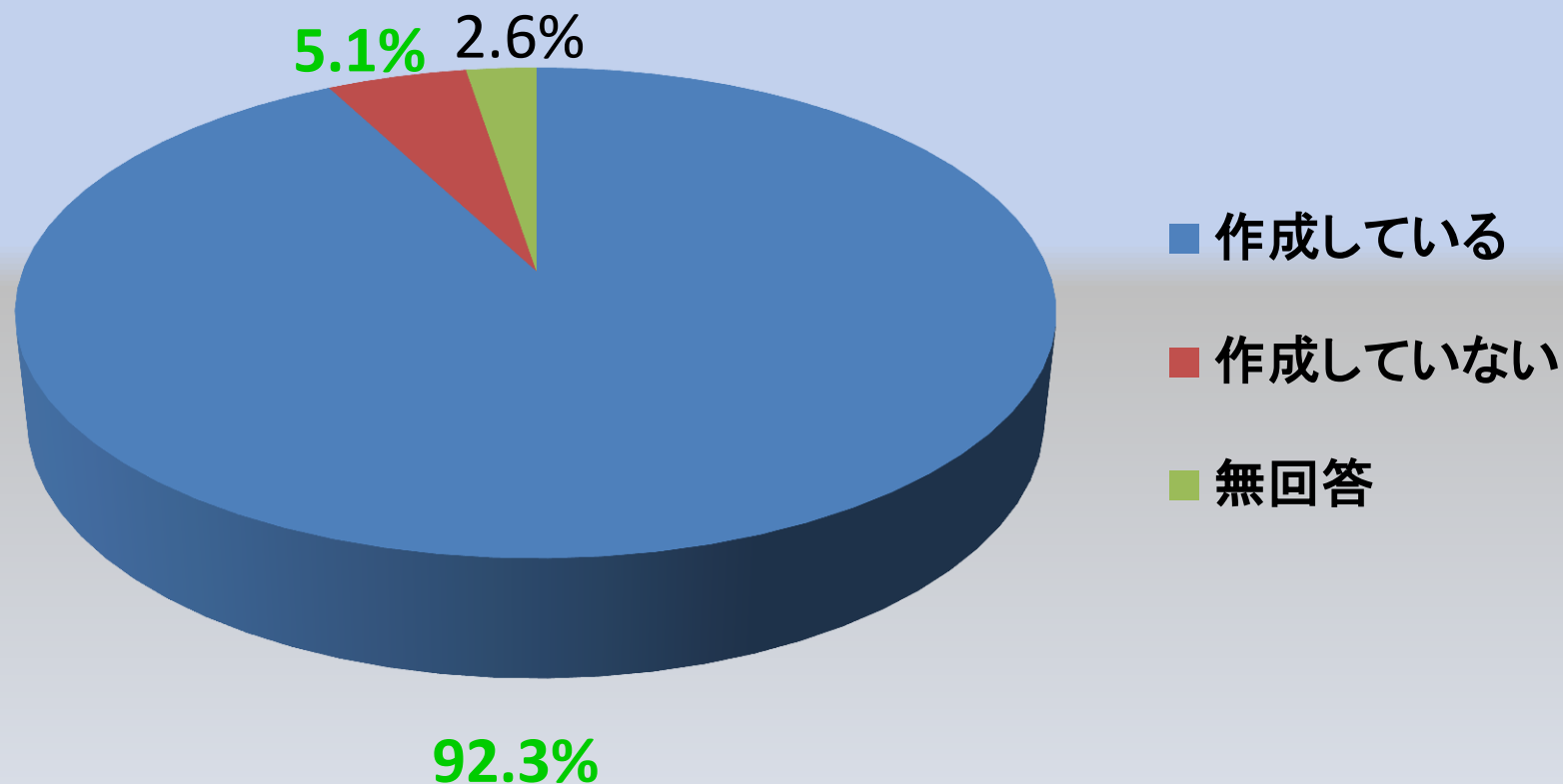
### 3. 日常業務について

## 8) 検体提出が多い診療科 上位3科を選択して下さい。

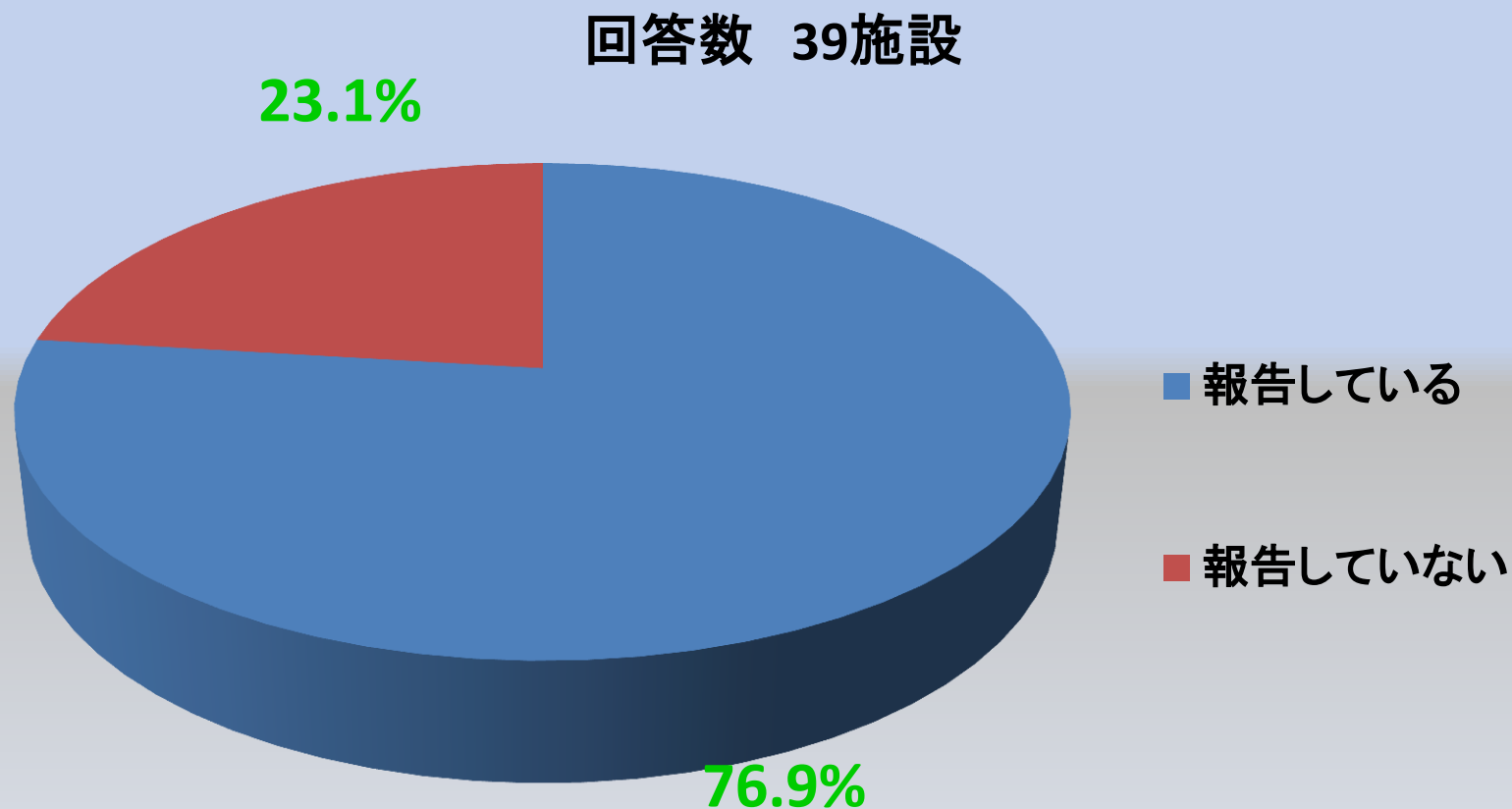


## 9) 微生物検査マニュアルを作成している

回答数 39施設



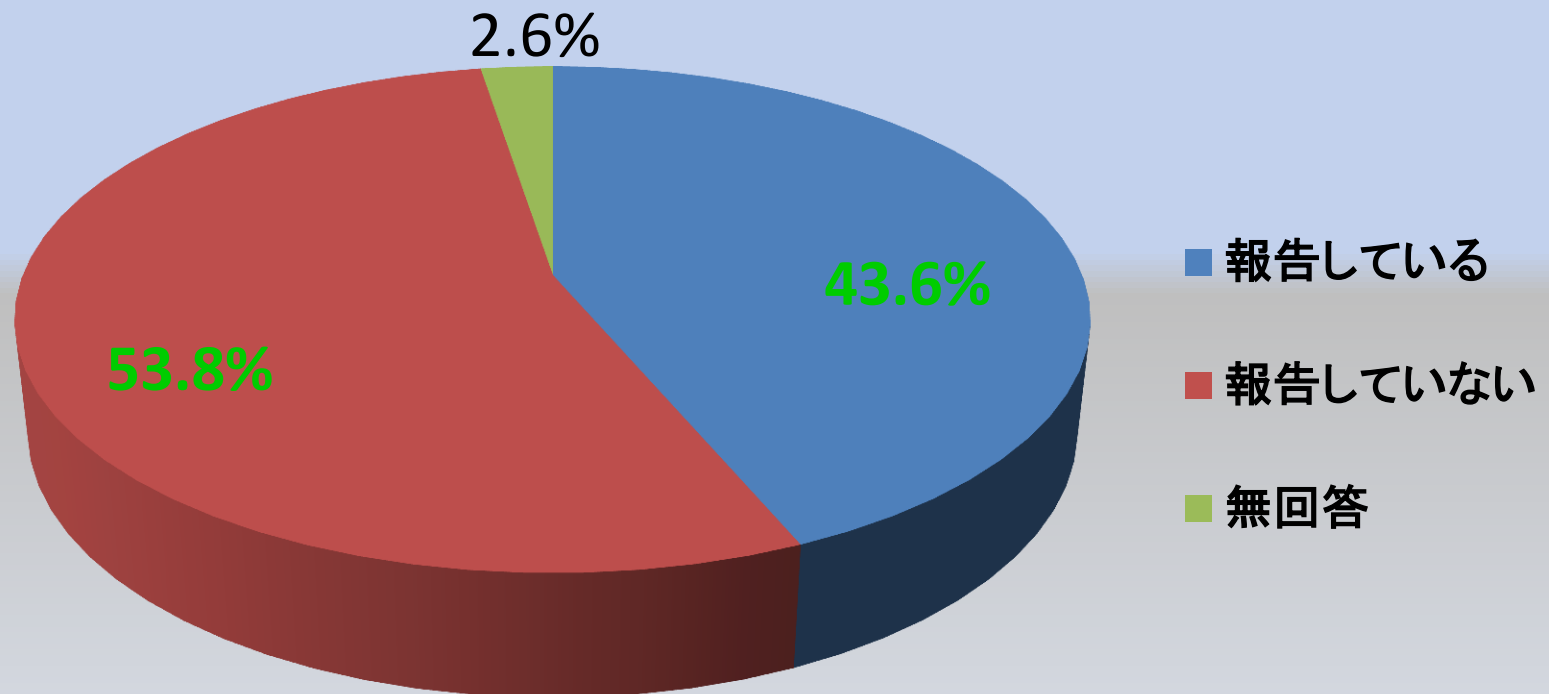
## 10) 菌種や菌数材料などを基にし、同定や薬剤感受性検査の実施基準を設けて報告している





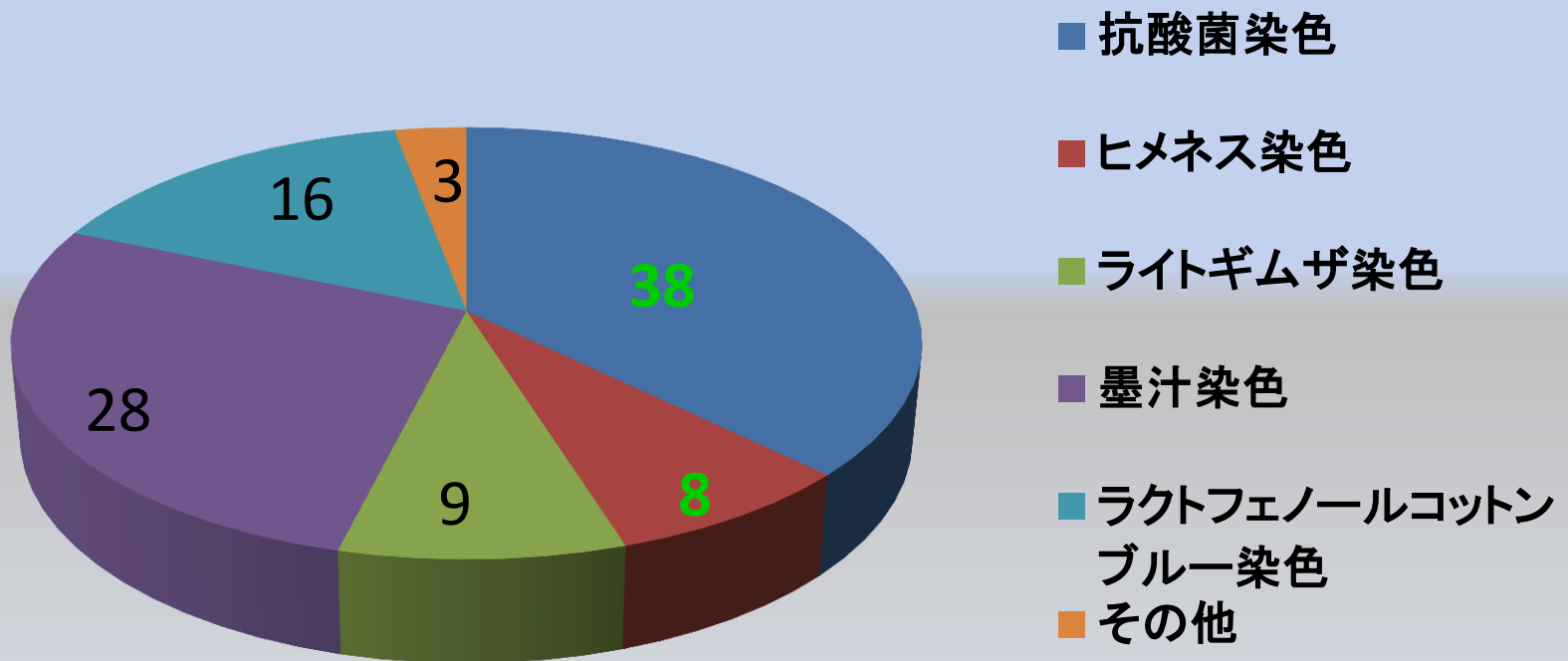
# 11) 塗抹検査(グラム染色)において 推定菌名を報告している

回答数 39施設



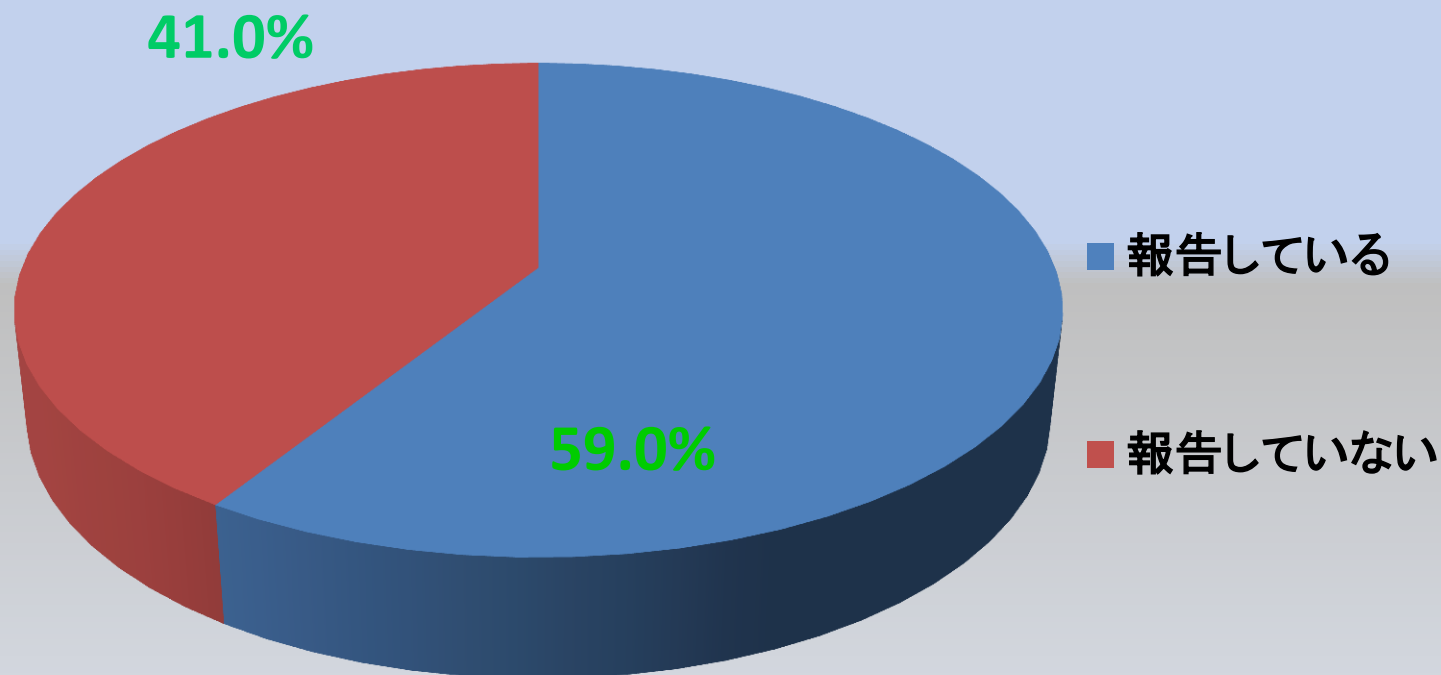
## 12) グラム染色以外の染色を 実施できるよう整備してある

回答数 39施設



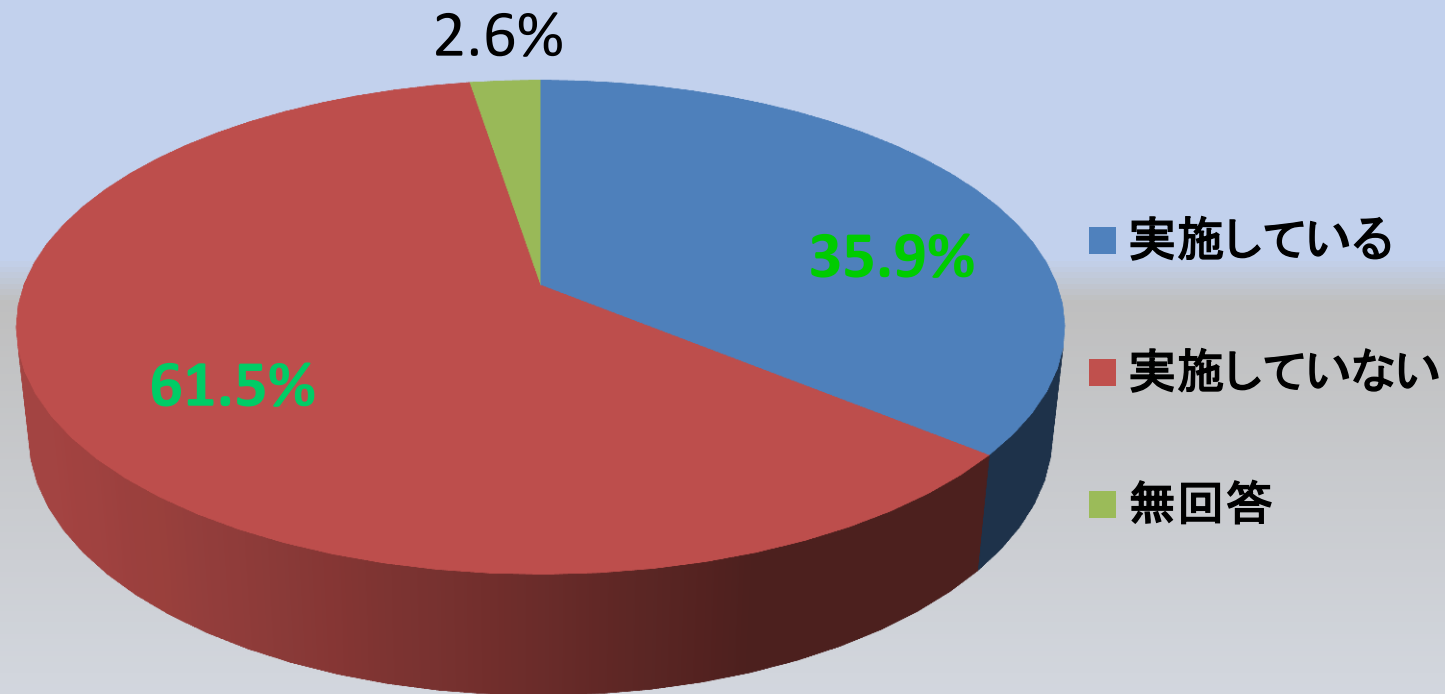
# 13) 喀痰塗抹検査において Geckler分類を報告している

回答数 39施設



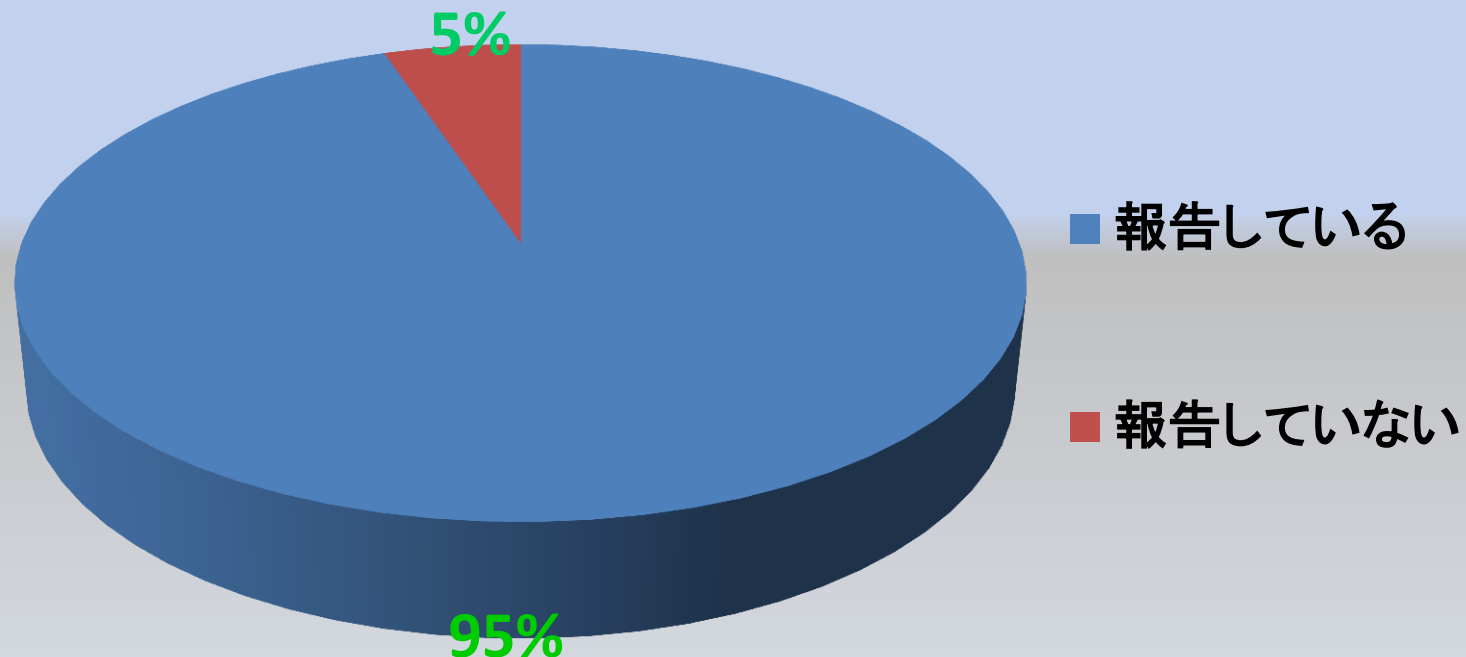
# 14) 喀痰培養検査(一般細菌)において 検体前処理を実施している

回答数 39施設



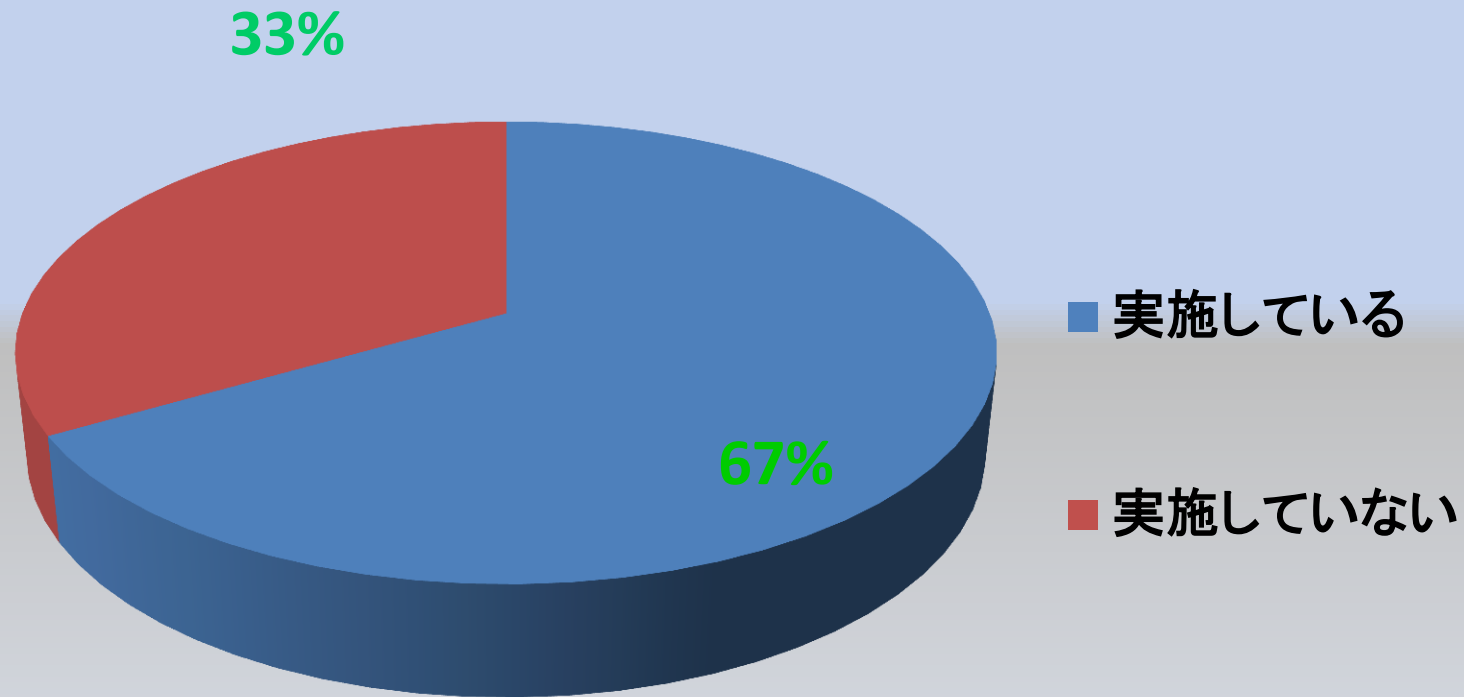
# 15) 尿培養において検出菌を 定量報告している

回答数 39施設



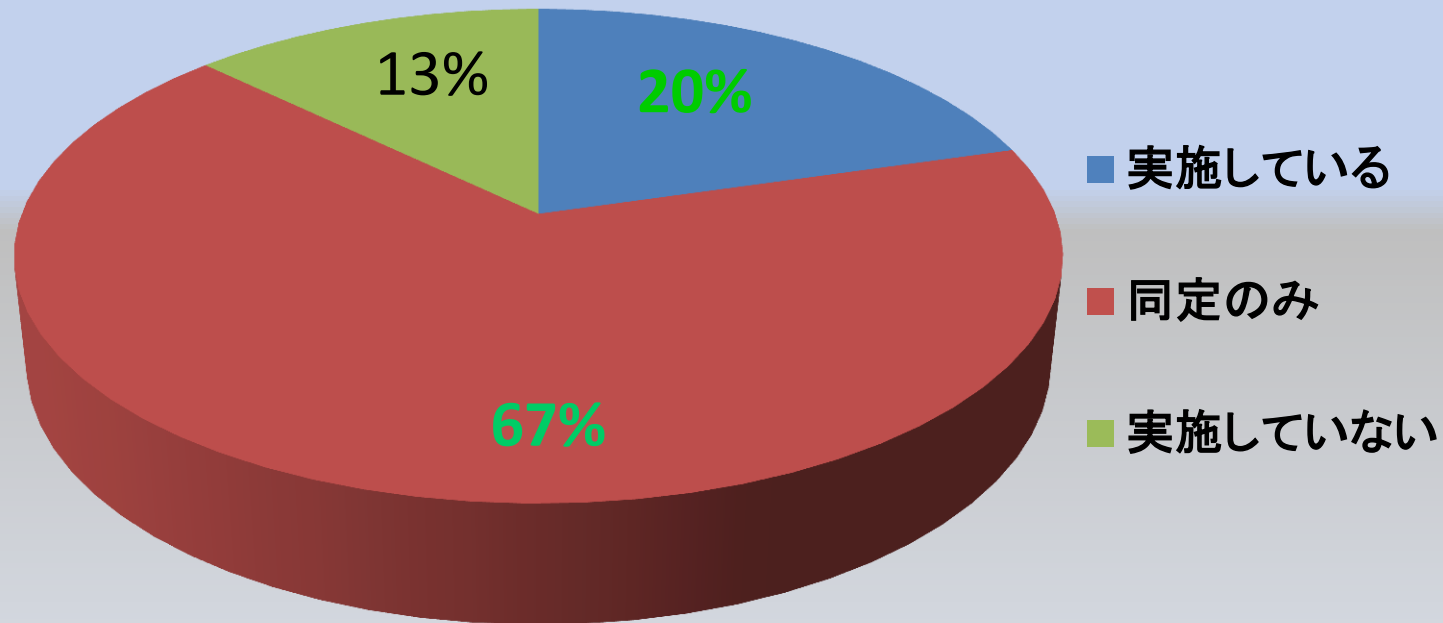
## 16) 嫌気性菌の同定・感受性検査 結果を実施をしている

回答数 39施設



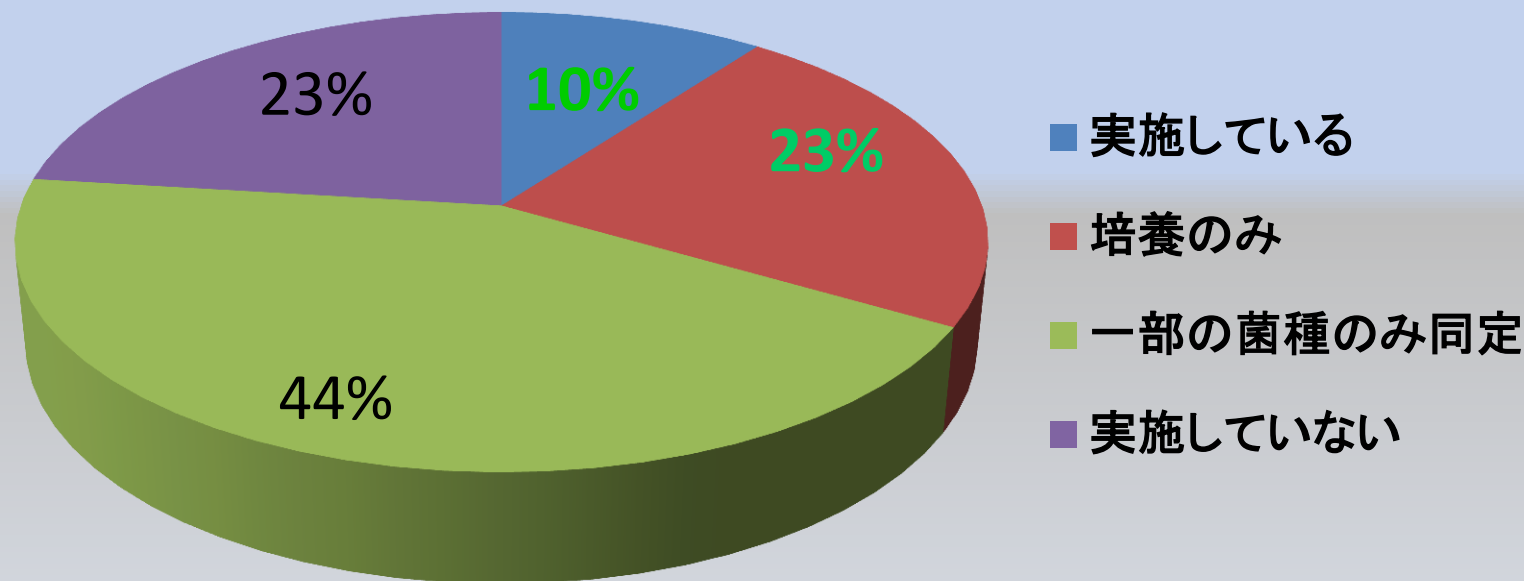
## 17) 酵母用真菌の同定・感受性 検査結果を実施をしている

回答数 39施設



## 18) 糸状菌の培養・同定検査 結果を実施をしている

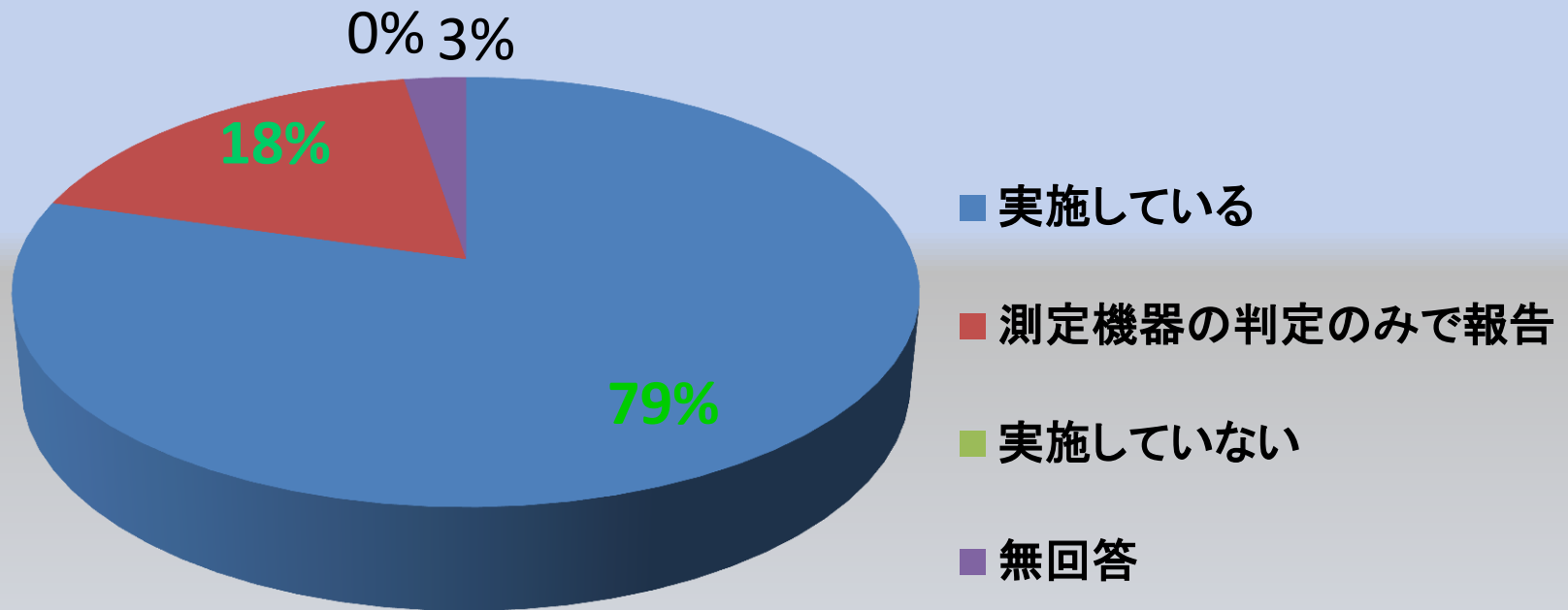
回答数 39施設





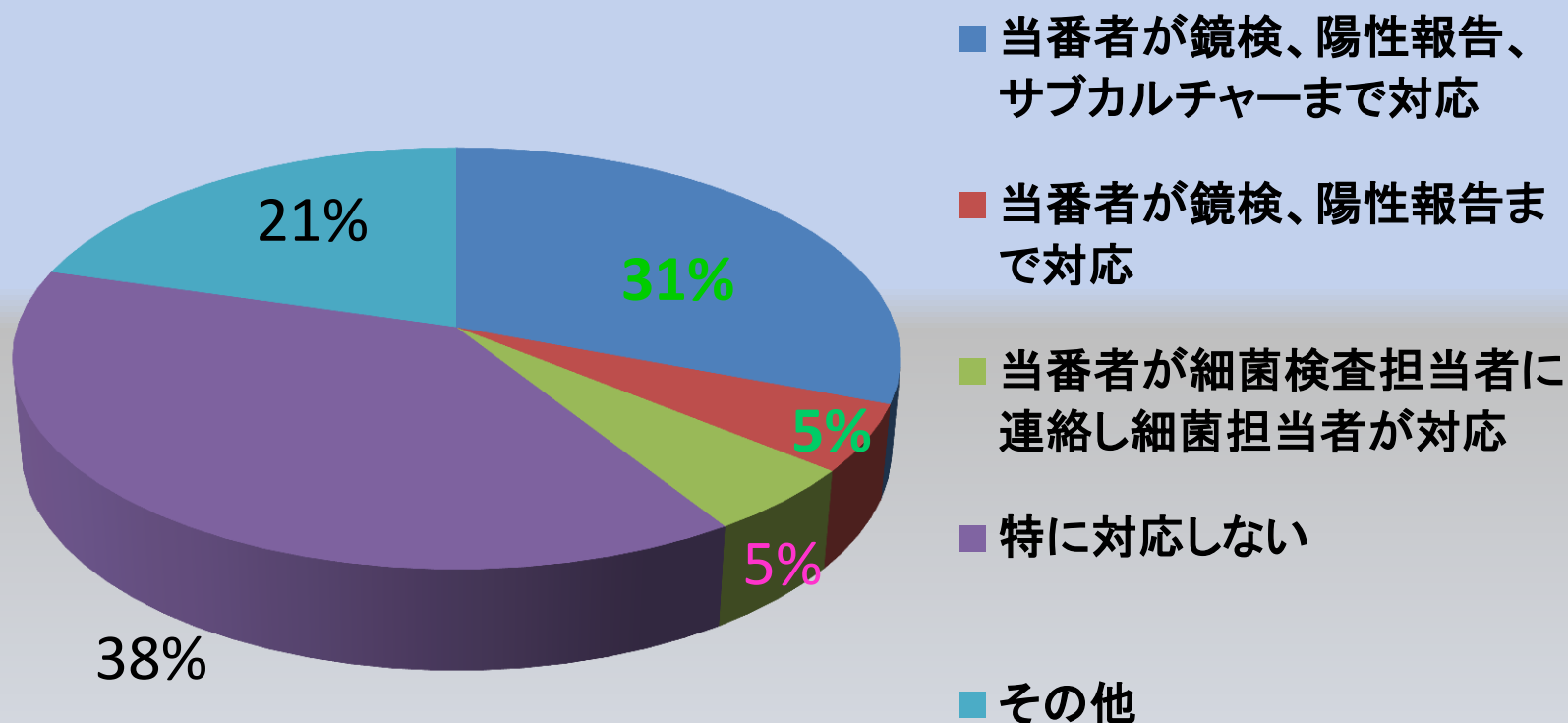
# 19) 日常的に主要な耐性菌に対する検査を実施、必要に応じて報告している

回答数 39施設



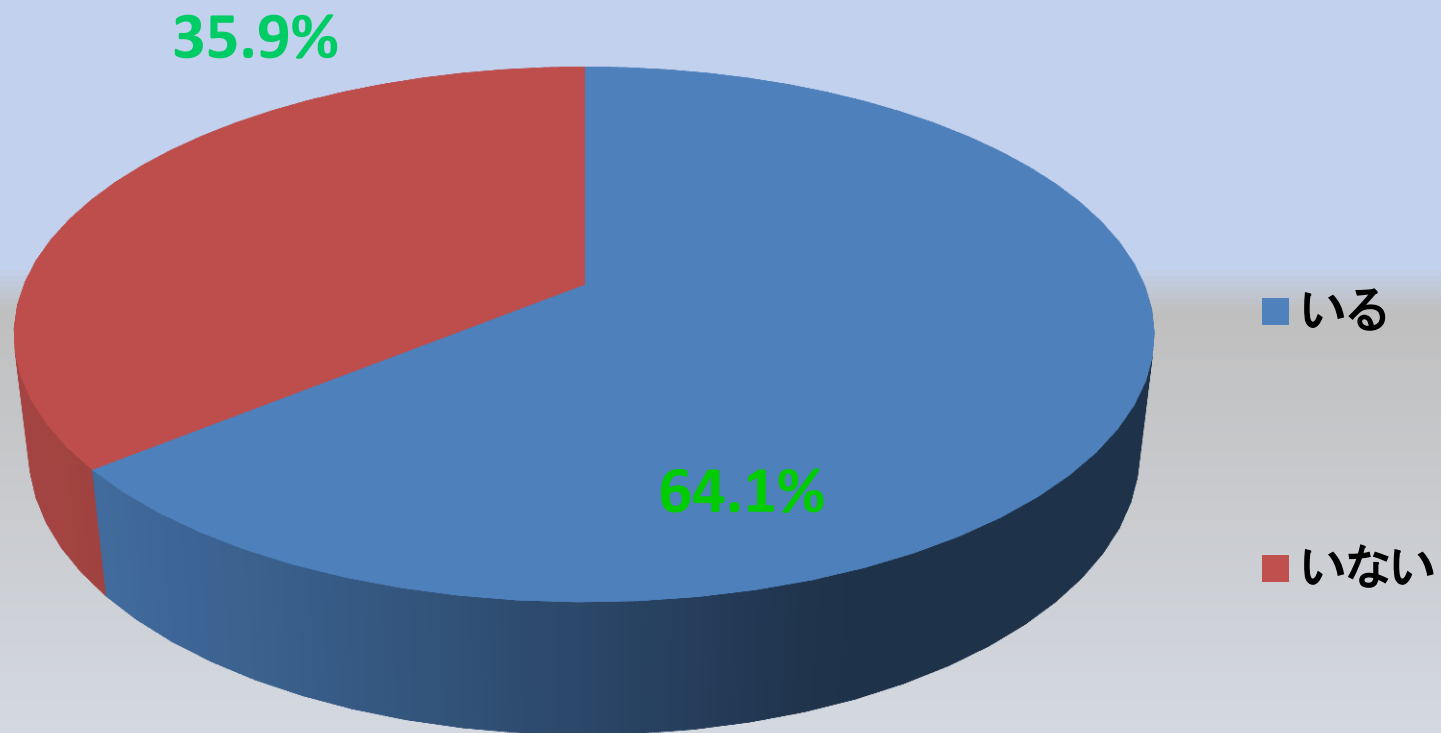
## 20)休日・夜間における血液培養陽性時の対応について実施している

回答数 39施設



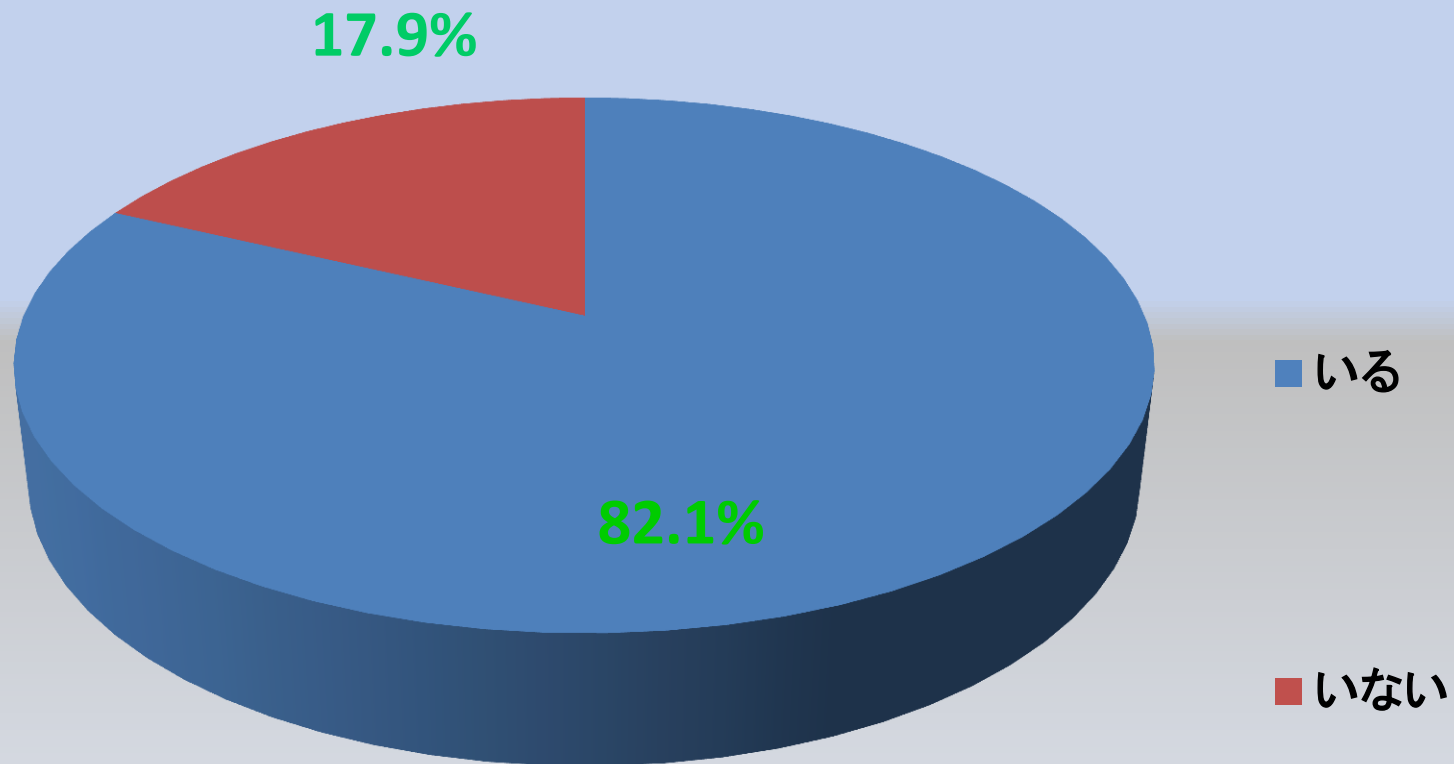
## 21) 検査業務や検査結果について、 相談や議論できる医師がいる

回答数 39施設



## 22) 検査業務や検査結果について、 相談や議論できる技師がいる

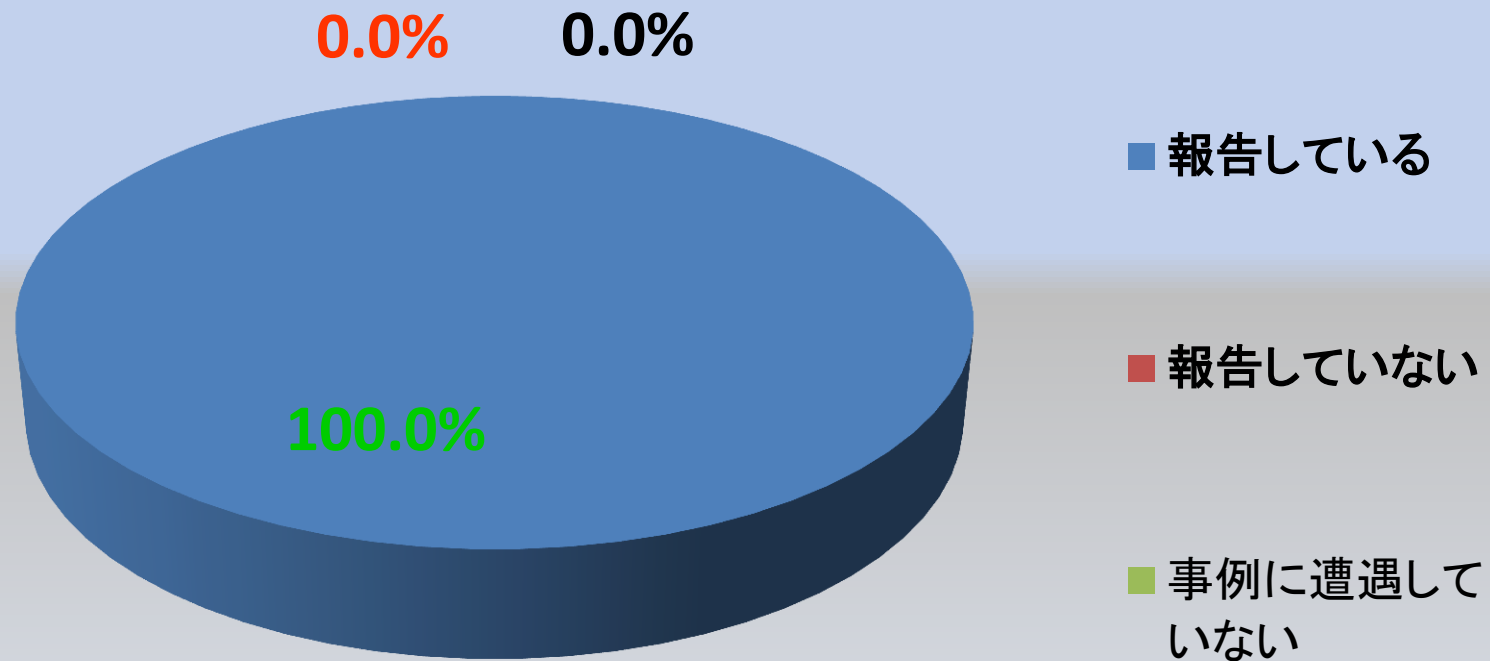
回答数 39施設



## 4.院内感染対策について

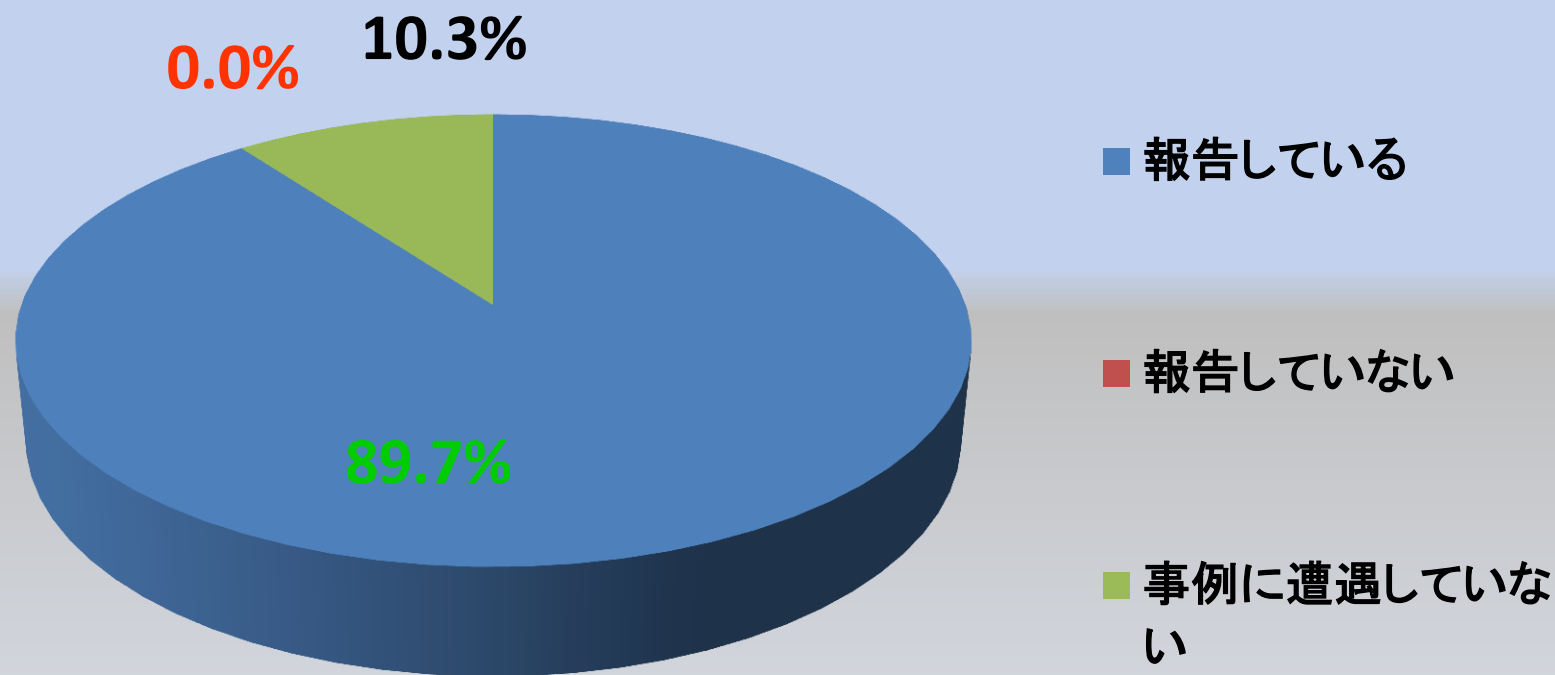
## 23) 問題となる菌種や耐性菌が検出された場合、迅速な報告を行っている

回答数 39施設



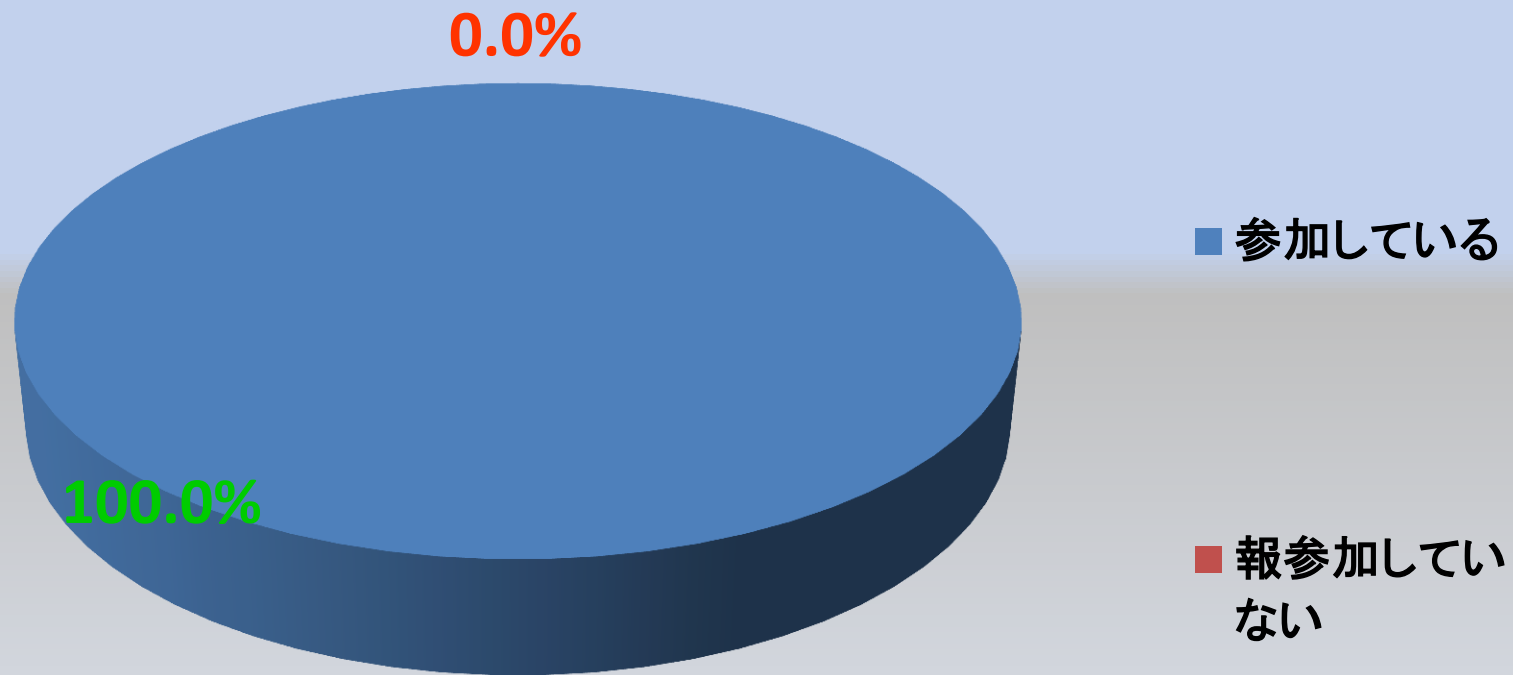
## 24) アウトブレイクの兆候があった場合、 迅速な報告を行っている

回答数 39施設



## 25) 細菌検査室のスタッフがICTまたは 院内感染委員会に参加している

回答数 39施設

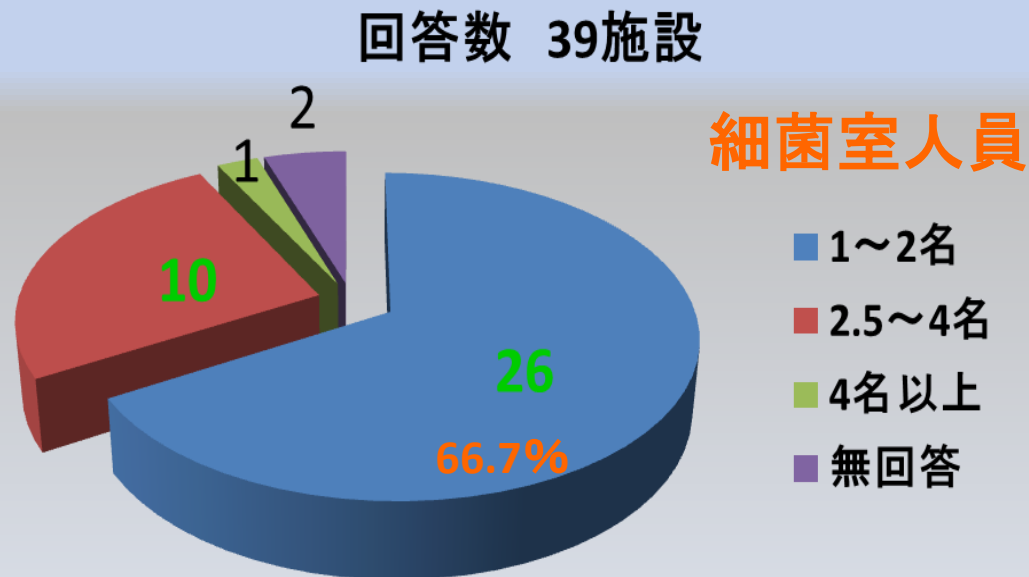




## 5.現状における問題点について

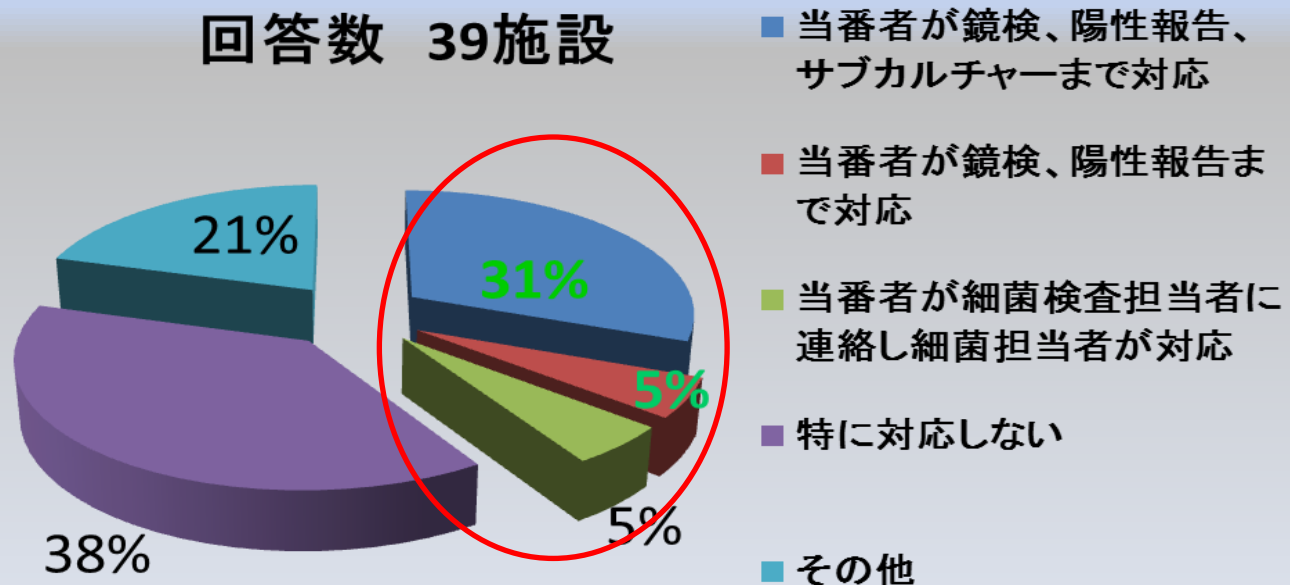
# 1.通常業務の問題点

- 人員が少ないためバックアップ体制が整わない。
- 人の育成ができない。



## 2.血液培養検査の問題点

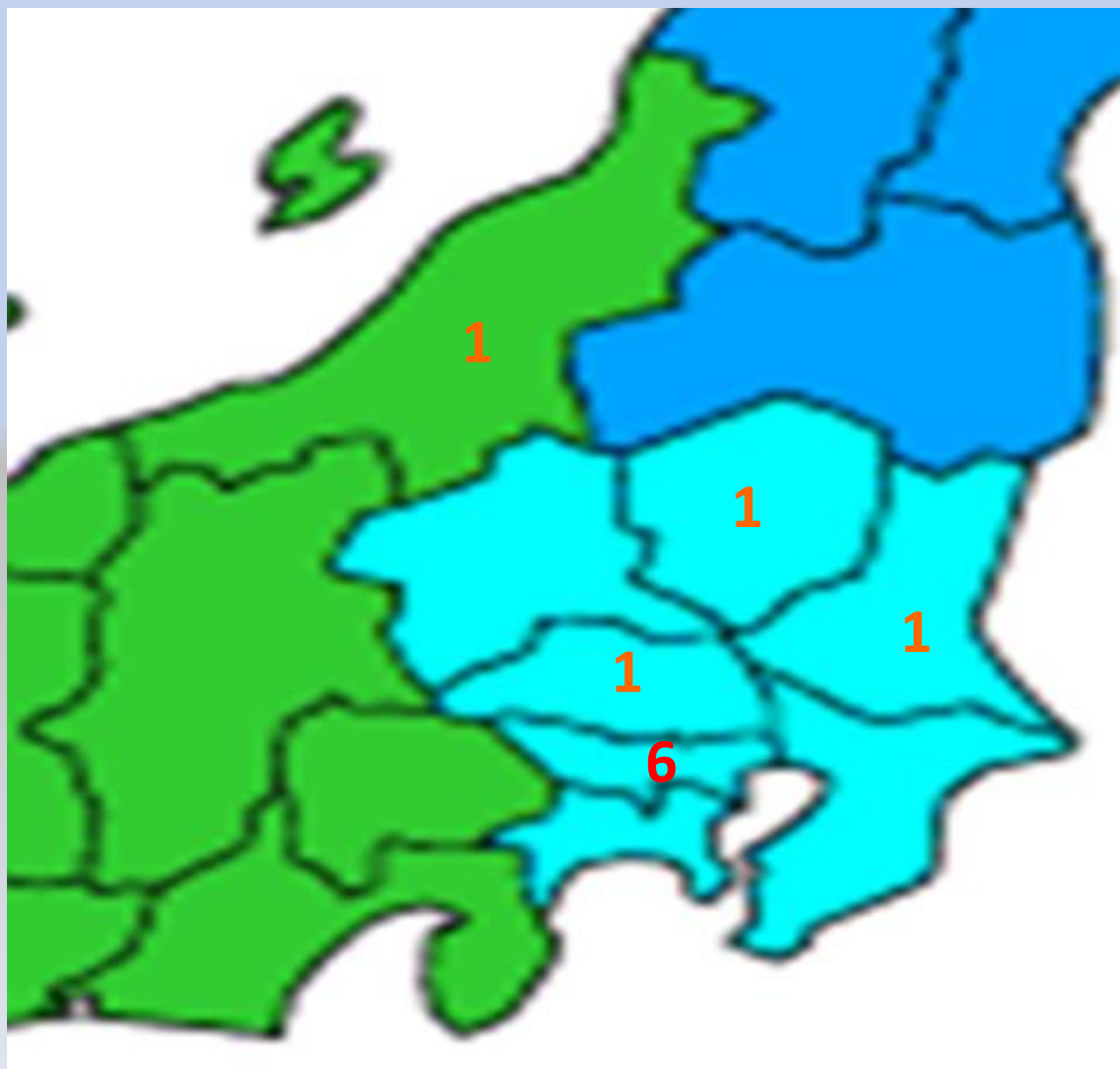
- 休日・夜間の細菌担当以外の技師の対応はどこまでするか。グラム染色して報告したほうがいいのか。



### 3.その他の問題点

- アンチバイオグラムを作成し配布しているが使用されているのか。
- 資格所有者が少ない。
- キャリアアップしていく術がない。
- 外注検査なので携わっていない。

# 関信支部認定技師の配置



# まとめ

- ① 細菌検査経験年数は浅いが資格取得意識は強く学会にも半数の人は入会している。
- ② 染色液はどの施設も数種類常備しており抗酸菌染色はほぼ全ての施設で行っている。
- ③ 真菌の同定や感受性結果についてはこれからの課題である。

# まとめ

- ⑤休日・夜間の血液培養陽性時の対応は一番の問題である。
- ⑥感染防止対策加算の取得もあり耐性菌やアウトブレイクの報告、ICTや院内感染委員会への参画は全ての施設が行っている。

細菌検査は問題点が多いが皆さんで  
解決していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。